

ダンク決めてにっこり 元代表塩屋さん、下関・角倉小で教室



塩屋さんと楽しそうにボールを追いかける児童たち

スポーツに親しむきっかけを作ろうと、下関市彦島角倉町の角倉小学校で9日、山口県出身の元日本代表バスケットボール選手、塩屋清文さん(41)による教室が開かれた。市教委主催。4～6年生計182人が参加。学年ごとにバスケの

基本となるボールの手さばきを教わったり、1チーム7、8人で塩屋さん一人と対戦したりした。「スポーツを通じて夢を持ってもらいたい。みんなで助け合いながら一体感を持って上を目指すことを知ってほしい」と塩屋さん。対戦では

児童たちはパスを回しながら、必ず全員がシュートしていた。

塩屋さんに抱えられてダンクを決めた同小6年の藤本颯太君(11)は「とても高くて爽快だった。大きくなってダンクしたい」と笑顔だった。